



認定こども園

函館上湯川保育園

POLICY BOOK

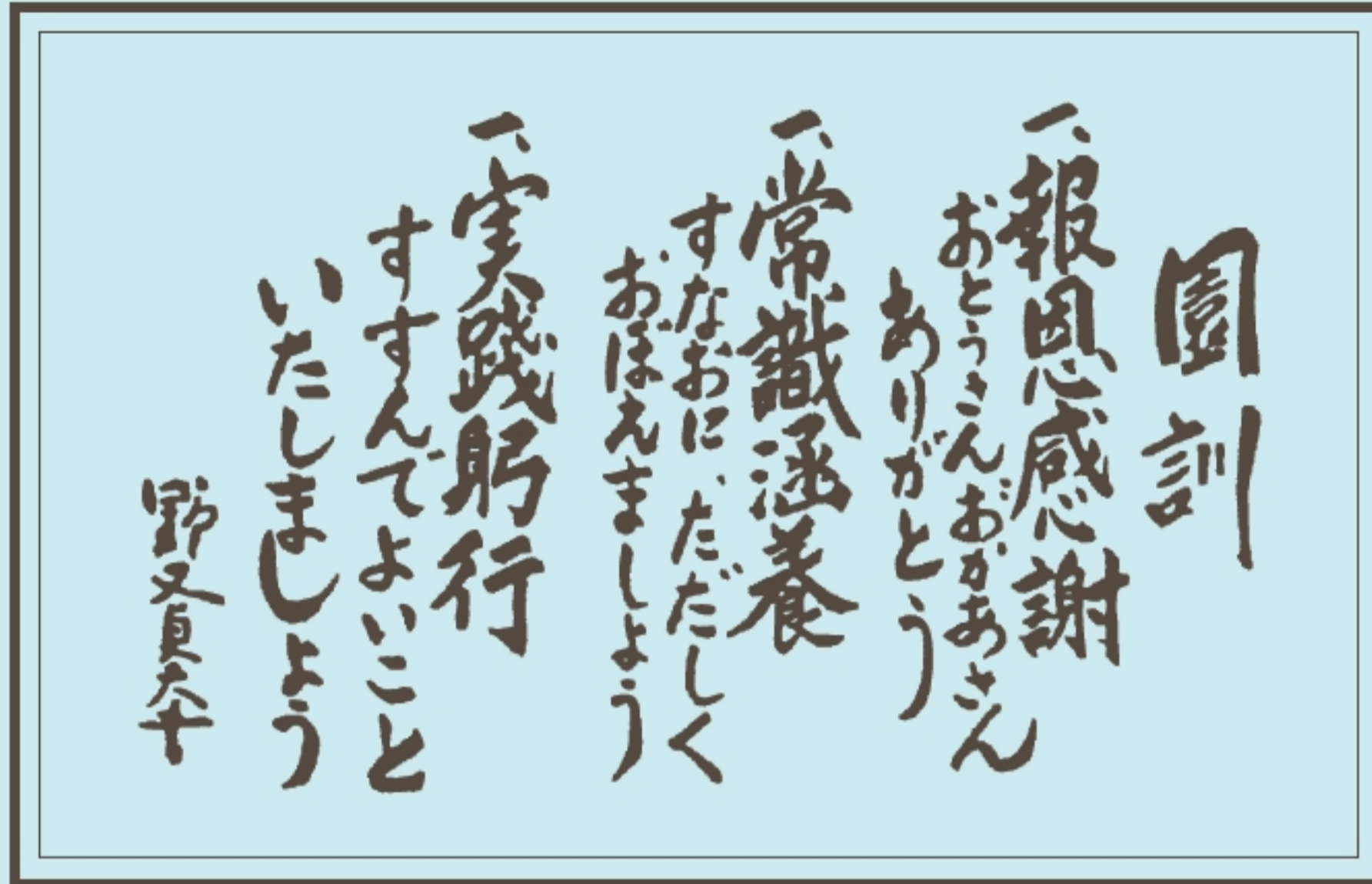
一緒に子育てを
楽しみましょう！



認定こども園

函館上湯川保育園

経営主体	社会福祉法人 貞信福祉会
理事長	野又 淳司
開所年月日	昭和47年4月1日
所在地	函館市上湯川町10番12号
TEL	0138-57-2619
FAX	0138-57-2614
定員	95名 1号認定 15名(満3歳から就学前) 2号認定 44名(3歳から就学前) 3号認定 36名(0・1・2歳児)
対象児	生後57日産休明け～就学前のお子さん 生後8週間を経過し健康診断の結果、健康であること。
事業内容	通常保育・乳児保育・延長保育・一時預かり保育・障がい児保育・地域活動
URL	http://teishinfukushikai.or.jp/kamiyunokawa/



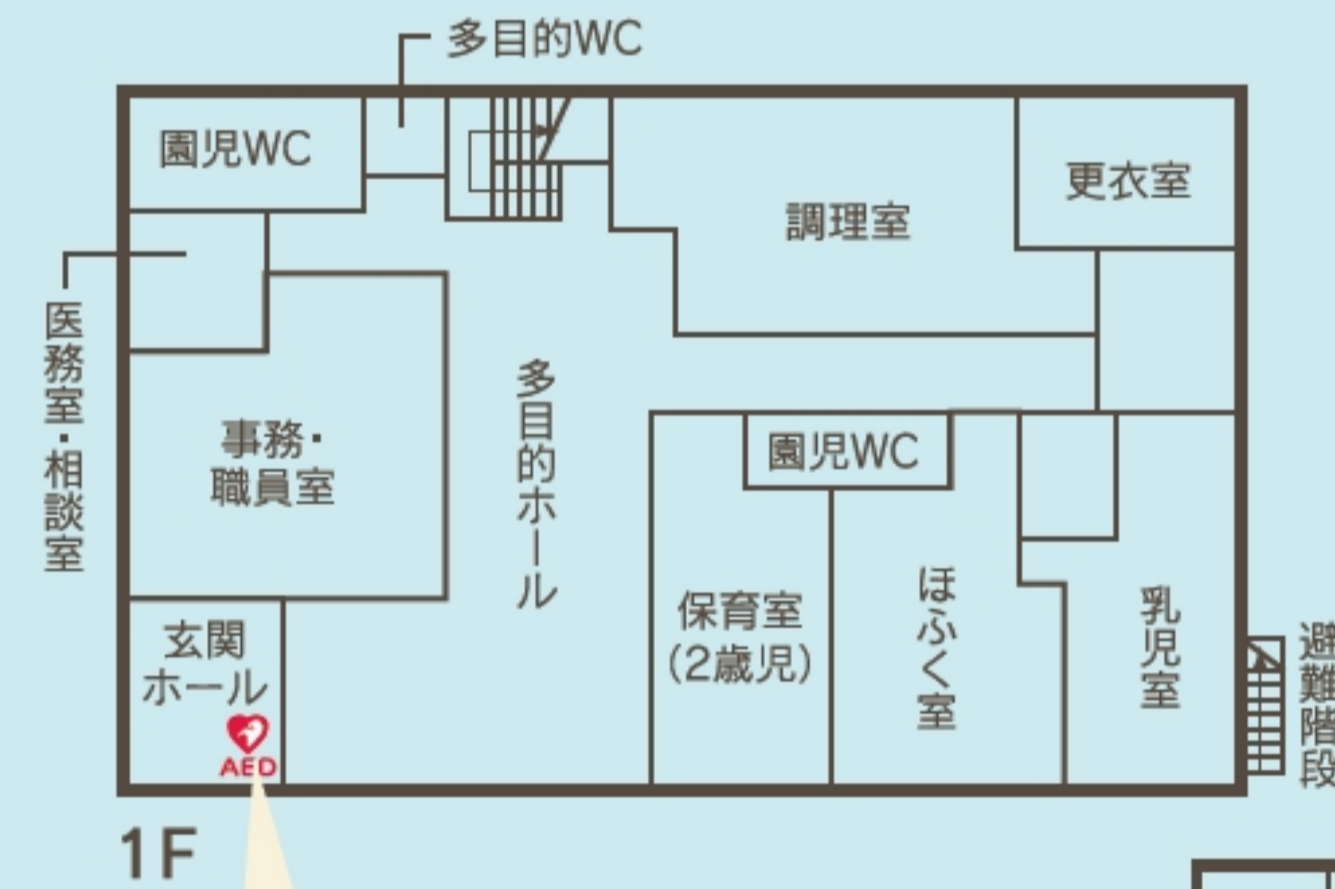
貞信とは…

かの天に斗あるがごとく 人は信を常とすべし
「如彼天有斗 可人信為常」

天の道しるべが星であるように、
人間生活の道しるべは、
「信」という文字で表せる。

「貞」とは常に正しく守るということ
「信」とは嘘がなく、誠実で信じること

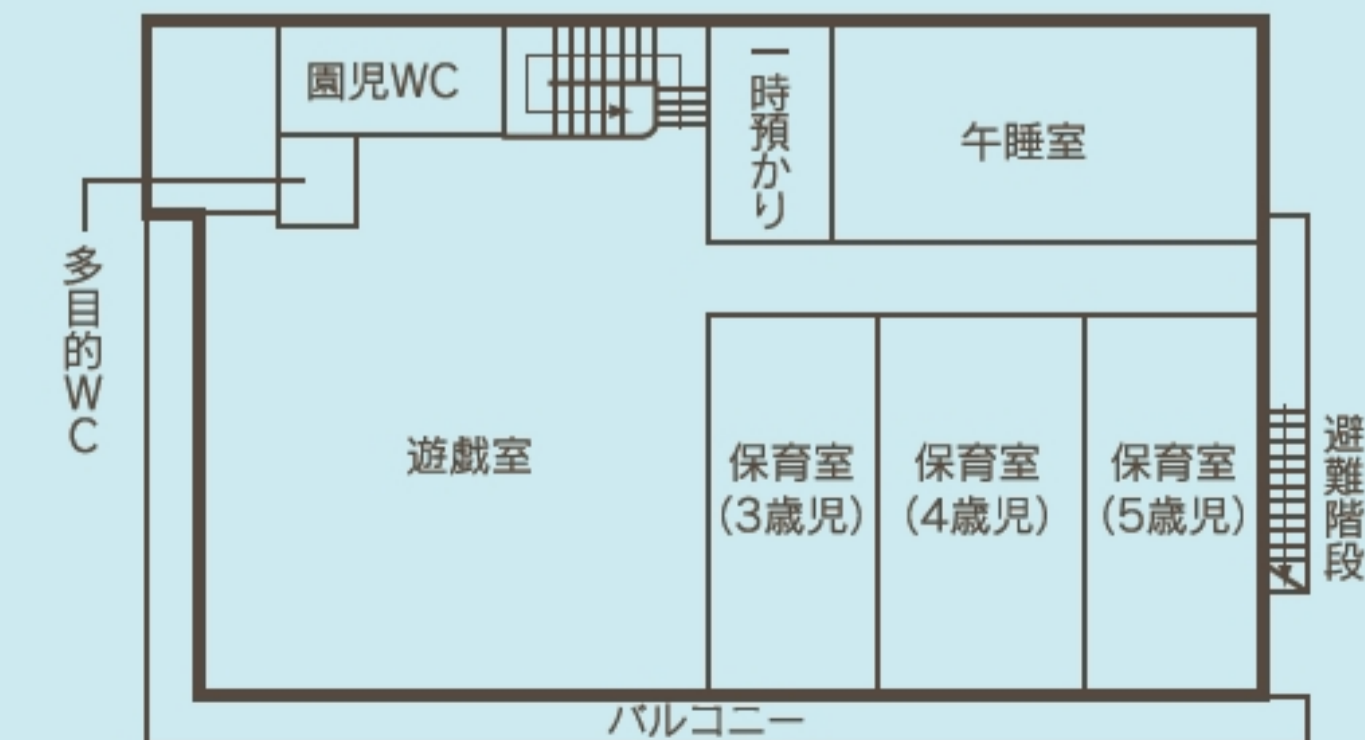
私たちは「信」を大切にできる
子どもたちを育てます。



1F

AED(自動体外式除細動器)を設置しています

当園では緊急の場合に備えてAED(自動体外式除細動器)を設置しています。
職員は市民救助員資格を順次取得中(平成25年4月7日現在6名取得済)であり、迅速な対応ができるよう、知識の向上、共有を図っています。



2F

Message

ポリシーブックを作成するにあたって

認定こども園函館上湯川保育園は、平成22年度に園舎の建て替えを行い、平屋から2階建になりました。平成29年度4月から幼稚園機能も兼ねた認定こども園に移行しました。開園から、家庭的環境、くつろげる空間、一人ひとりの育ちを職員全員で見守る事を大事にしてきました。保育園で生活し遊ぶことで育ち合う子どもの姿が成長を実感させてくれます。

このポリシーブックはより一層の保育の充実のため、当園の子どもたちに対する保育の思いと実践内容を職員皆で再確認し、まとめたものです。私たちは保育園の方針・保育活動をご理解いただき、家庭と共有することが子どもの成長を助長させると考えます。子どもたちのすこやかな成長を願い、子どもを真ん中に家庭と保育園が手をつなぎましょう。

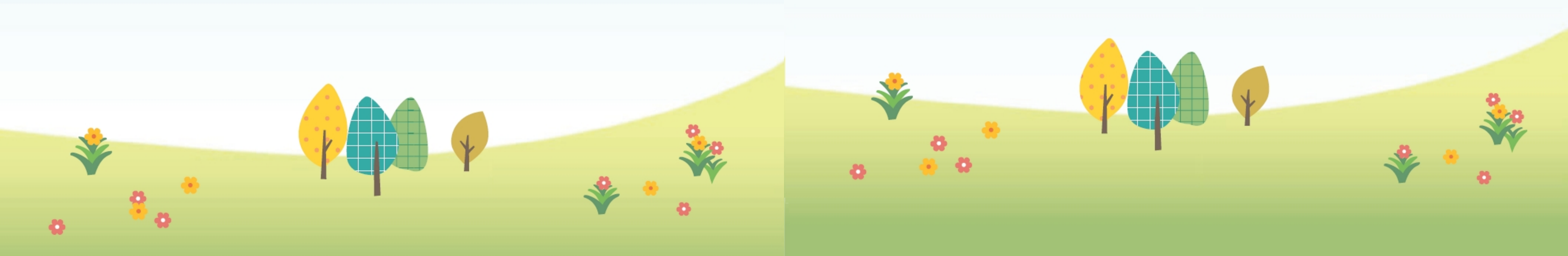
そのためにこのポリシーブックが家庭と保育園の掛け橋となることを強く望んでいます。

職員一同さらに研鑽を重ね、保育にあたりますので、保護者の皆様のご理解とご協力を今後とも宜しくお願い致します。

園長 奥山早苗

Contents

① 保育園の理念	4
② 方針と保育目標	6
③ デイリープログラム	8
④ 園行事について	10
⑤ 0歳児の保育	12
⑥ 1歳児の保育	14
⑦ 2歳児の保育	16
⑧ 3～5歳児の保育	18
⑨ 静の遊び	20
⑩ 動の遊び	22
⑪ 食育について	24
⑫ 健康面の管理・感染予防	26
⑬ 環境・衛生管理	28
⑭ 安全・事故対策	30
⑮ 子育て支援	32





子どもを真ん中に、 保育園と保護者で手をつなぎましょう

当保育園の運営方針は、園訓3カ条をもとに「報恩感謝」(情)「常識涵養」(知)「実践躬行」(意)を基調に進められています。乳幼児がくつろいだ適切な環境のもとに「こころの豊かないきいきとした子」に育つことを願い設立されました。子どもたちのすこやかな成長のため、毎日笑顔で過ごせるように保護者の協力のもと、家庭援助を行います。

愛はふれあいの中で

- 「ぎゅっと抱きしめる」
- 「楽しい話し合いをする」
- 「一緒に遊ぶ」

なにげないお母さんの心掛けが優しい心を育てるのです。ほのぼのとした心のぬくもりが生きる力になるのです。家庭は、子どものやすらぎの場。保育園もご家庭と一緒にやすらぎの場でありたいと考えています。



保育園の理念

1. 保育を必要とする乳幼児の養護と教育を行う。
2. 保育は園訓3カ条を具体的信条としてすすめ、社会生活を営むための人格形成を図る。
3. 家庭や地域社会と連携し、保護者に信頼され、地域に愛される保育園を目指す。



養護

愛されていることを
感じてほしい

健康に配慮された安全な環境のもと、一人ひとりの甘えや欲求・気持ちを温かく受け止めていくことで、子どもたちが安心と信頼感を持って生活し、自分の思いや考えを伝えることができるようにしています。
恵まれた自然や人との関わり(同年齢・異年齢・大人)の中で刺激を受けながら、意欲的に様々な活動に取り組みます。多くの体験を通して、自分の得意なこと、好きなことを見つけながら、心豊かにいきいきと育つ一人ひとりを職員全員で見守っています。

教育

可能性を引き出して
あげたい!

人格 形成

こころ豊かな いきいきとした
子に育てほしい

園訓3カ条をもとに日々の保育(年齢別・異年齢保育など)を行っています。行事やおけいここと(貞信ファーム、おはようタイムなど)を通し、ルールや礼儀などを伝えたり、子どもたちのあこがれになるように保育者は「笑顔が一番 愛情いっぱい 優しい言葉を忘れずに」を合い言葉に保育しています。

職員は研修などに積極的に参加し、知識の習得と技術の向上に努めること、豊かな愛情をもって接することを心に、子どもたちと共に成長していきたいと思えます。

家庭・ 地域社会 との連携

保護者の方、
地域の方に寄り添いたい

- 保護者に向けて
子どもの成長を共に見守るパートナーとして、子どもの様子を共有するため、大人同士のコミュニケーションを大切にしています。保護者の方が話しやすい雰囲気づくりを心掛け、懇談会・苦情解決窓口などを通し、保護者のためにもよりよい保育に努めます。
- 地域社会に向けて
写真展や園だよりの配布にて様子を伝えたり、行事の参加へのお誘い、実習生・インターンシップの受け入れなどを通し、地域社会との関わりも深めています。

保育園は子育てをサポートし、
お父さん・お母さんを
応援する窓口です!



生きていく力の基礎をもった
子どもを育てたい!

園訓と保育目標のつながり



小さな芽にたくさんの愛情を注ぎ、
大きな木を育てたい

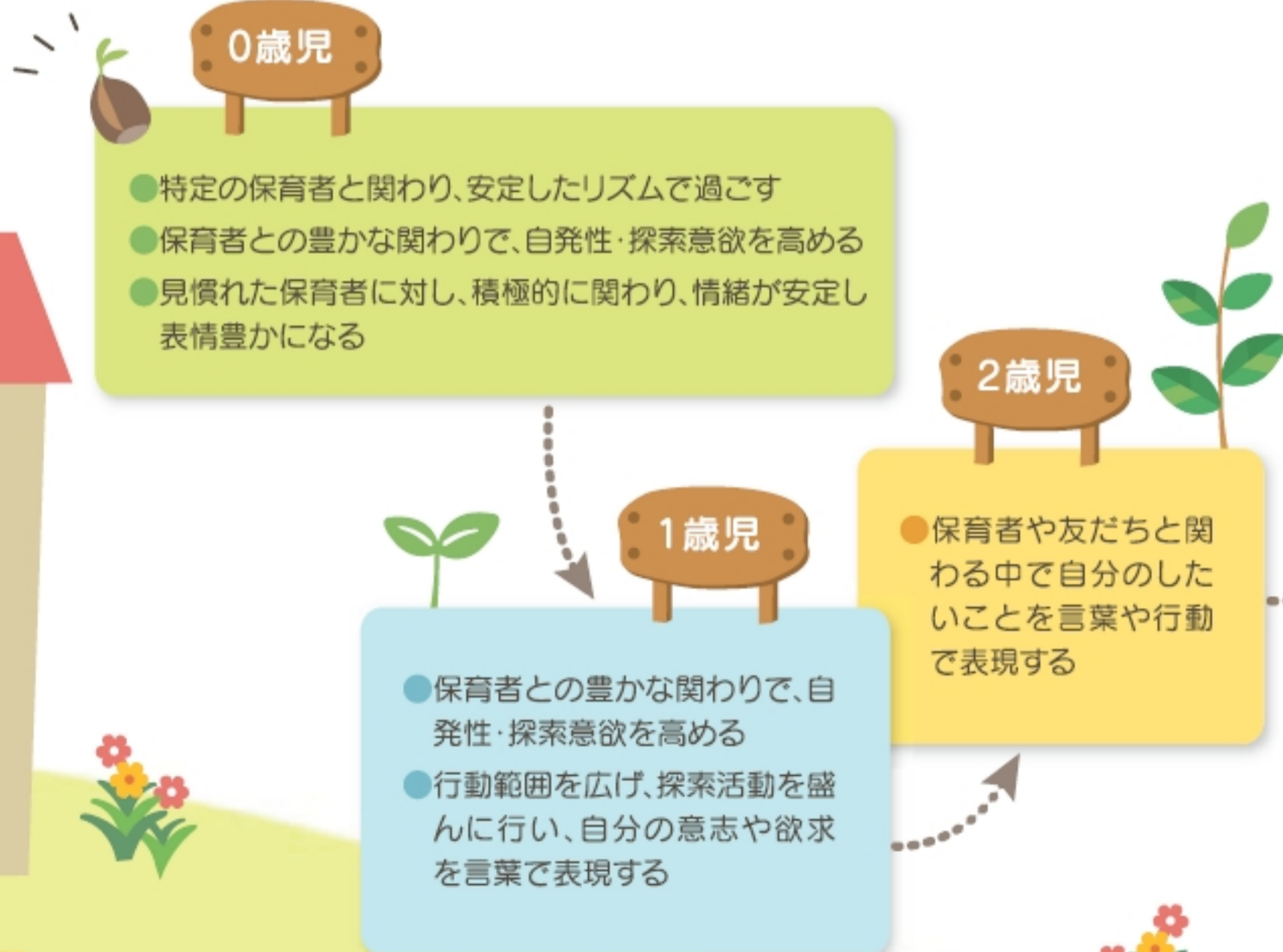
保育園は日中の大半を保護者と離れて生活する場です。私たちは、子どもにも保護者の方にも、安心して楽しみに来ていただけるような「第二の家庭」であるように願っています。その中で、一人ひとりの子どもたちが「生きるために必要な力を身につけていける」ように、目標をもち、丁寧な保育をしていきたいと思っています。

2
方針と
保育目標

豆知識

みんなの名前「ステキね」

「一人ひとりの名前は、お父さんとお母さんがいろいろな想いや願いをこめて付けてくれたもの」保育園では、そんな大切な名前を呼び捨てにせず、「ちゃん」「くん」「さん」をつけて呼ぶように心掛けています。また、大きいクラスの子にも名前の大切さを知らせています。



愛情
見守り



子どもには身体そのものが求めているリズムがあります

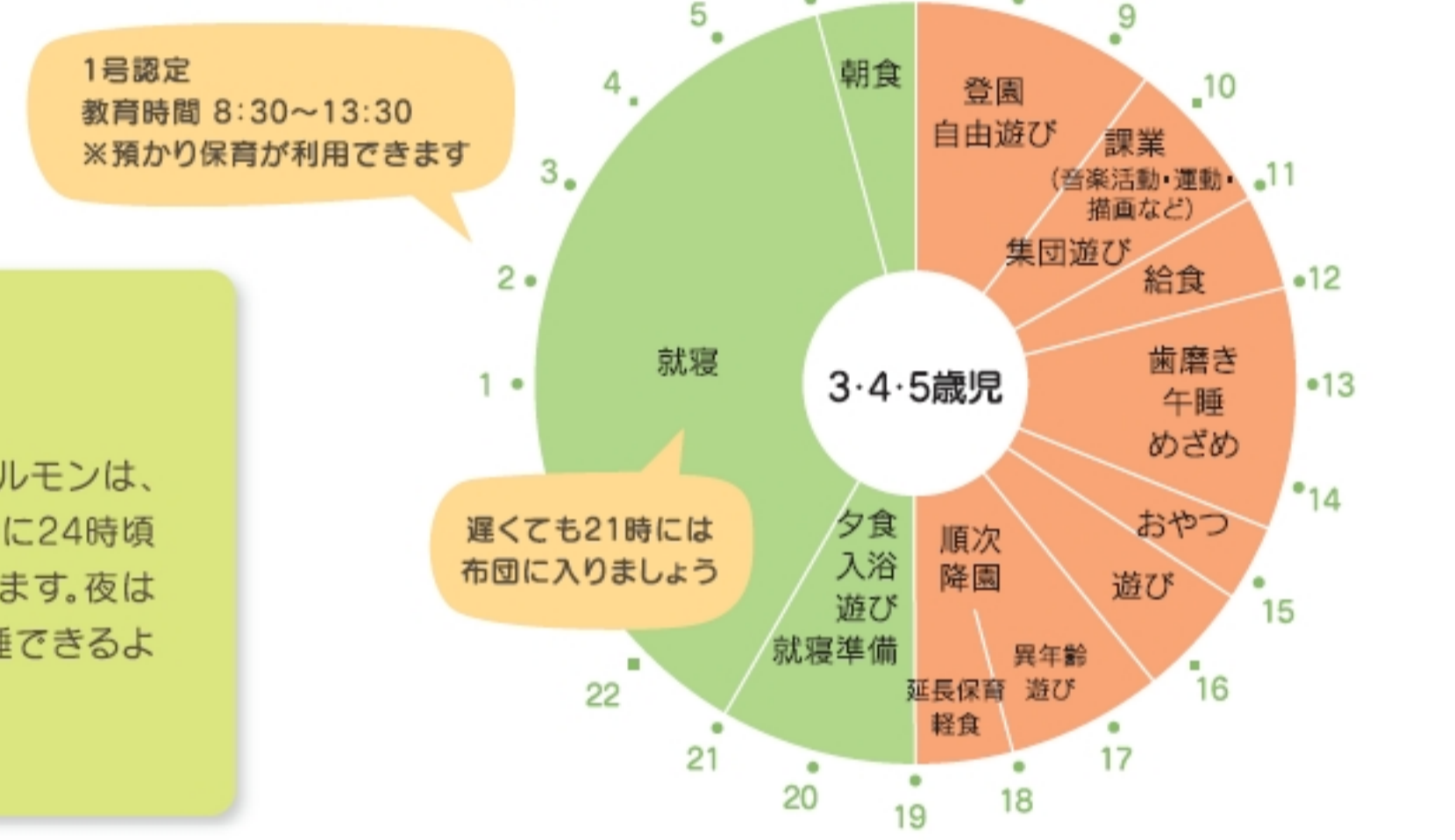
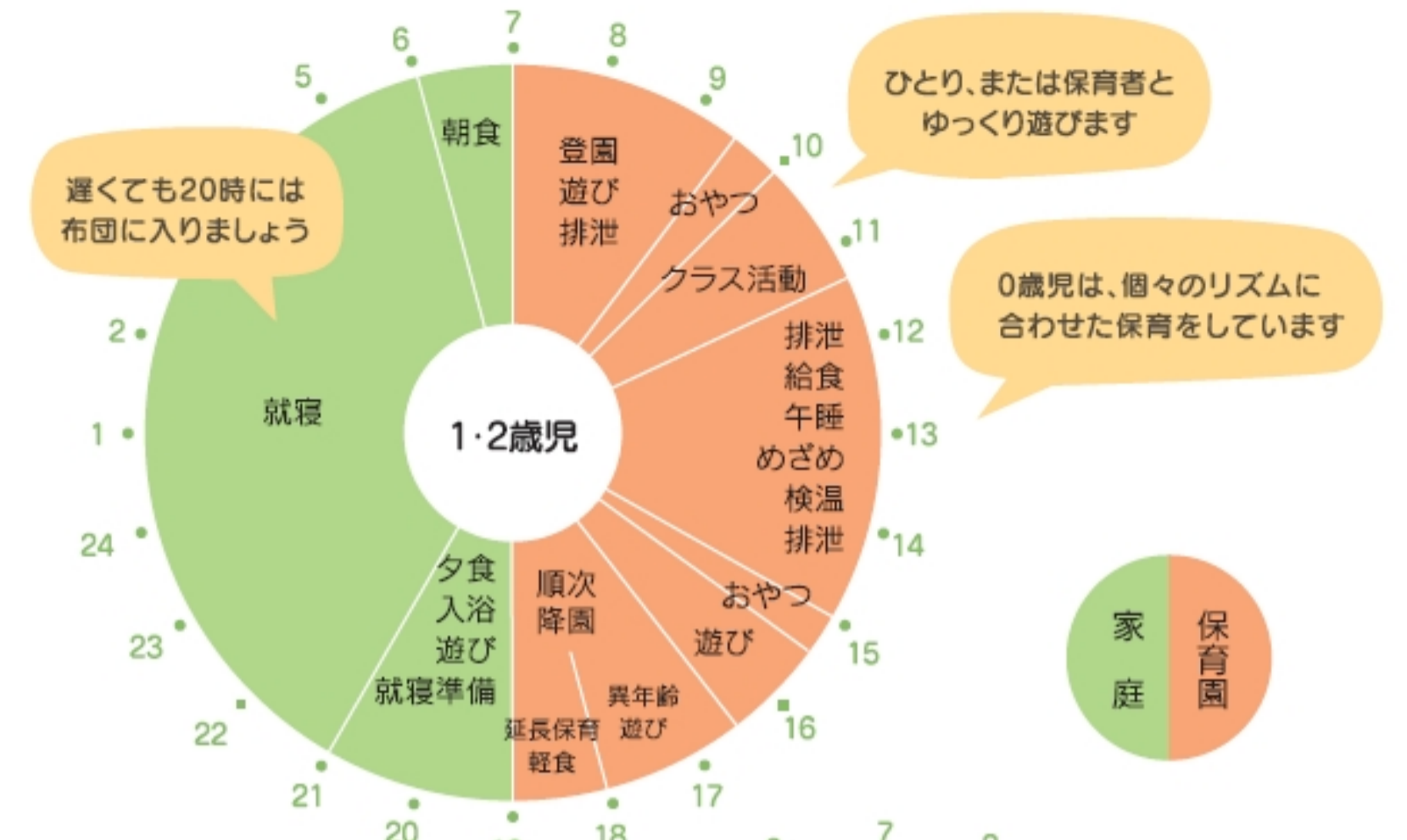
心と身体が安定した、すこやかな育ちのためには、24時間の「望ましい流れ」が必要不可欠です。特に食事やおやつなどの栄養補給は、身体活動に必要なエネルギーや脳の活動に必要な糖分の摂取など、1日の流れの中で適切に行うことが大切です。「睡眠」「食事」「遊び(身体活動)」をよりよいサイクルで行い、保護者の皆さんと一緒に子どもの育ちを支え合っていきたいと思っています。

3 デイリープログラム



生活リズムを整えよう!

「早寝・早起き・朝ご飯を食べよう」
家庭でも24時間、1日の流れを意識して生活を送ることで子どもは規則正しい生活を身に付けます。



寝る子は育つ!

子どもが成長するために必要なホルモンは、夜眠っている間に分泌されます。特に24時頃にたくさん出ることがわかっています。夜は早く寝るようにし、24時頃には熟睡できるようにしましょう。

元気な身体を作るために!

子どもが1日にとる栄養量の約半分を保育園でとっています。
●0~11ヶ月 約250~350kcal
●1~2歳児 約475kcal
●3~5歳児 約400kcal(+主食分 180kcal)
おやつも子どもたちの身体を作る大事な食事のひとつだと考えています。乳幼児期の身体は毎日成長しているのです。毎日の食事を軽く考えず、一つひとつの食事を保育園、ご家庭でも大切にしていきましょう。保育園でどんな給食をどれくらいの量で食べているのかは、毎日掲示してありますので、ぜひご覧ください。

外で思いっきり遊ぼう!

身体を思いっきり動かして活発に遊ぶことで運動量が増え、お腹が空き、気持ちよい疲れから眠りを誘ってくれます。また、昼間太陽の光を浴びることで、夜寝ている間にメラトニンというホルモンがたくさん出ます。メラトニンには、睡眠促進の他に、精神をリラックスさせ、細胞を守る作用などがあるため、たくさん外遊びをさせています。



子どもたちが様々な経験を通し 新しい力を発見するきっかけとなる行事

保育園の行事は参加する一人ひとりが主役となります。
子どもたちは様々な経験を通し自立心や考える力が育つ、また丈夫な身体をつくり、生きる力も身につけていく過程を大事にしています。
子どもたちの思いに心を寄せながら、共に喜び、成長を確かめ合う場となるように日々保育しています。

4 園行事について

豆知識

子どもの頑張り 心から褒めてあげましょう

人は、褒められればやる気が出るもの。お家の方のちょっとした褒め言葉やひと言が思いがけない子どもの変化や成果にもつながっていきます。
行事のときには子どものよいところや頑張っているところを、心から褒めてあげたいですね。



ひとつのことをやり遂げた達成感やドキドキ・ワクワクを感じさせてあげたい！

運動会
生活発表会

お父さん、お母さん、みて！みて！

子どもたちはこんなことを学びます

- 目標に向かってやり遂げる力がつく
- 友だちと協力したり、話し合うことで仲間意識が育つ
- 家族やお客様の前で披露し、褒められることにより自信となって成長できる
- 勝ち負けの経験を通して、様々な感情が芽生え、次の意欲につながる
(嬉しい・悔しい・頑張る・思いやる)



誕生会は、たんぽぽ誕生会や雪やこんこん誕生会など、季節に合わせた名前にしています

いろいろな活動を通して経験の幅を広げたい！

真信ファーム(農園)
お正月遊び
たんぽぽのつどい
おもちつき

保育園っておもしろいね！

子どもたちはこんなことを学びます

- 日常生活では経験できないことを保育園で体験することにより、楽しみのひとつとなっていく
- 日本文化にふれる機会として、伝統行事を知り、おもしろさや楽しさを知ることができる
- 地域の方や異年齢など、様々な交流やふれ合いの中で人との関わりを楽しむを知る
- 季節の行事を通して自然の恵みや健康の大切さ、感謝の気持ちが育つ

一人ひとりの成長を祝い、ひとつ大きくなったことを喜びに感じてほしい！

誕生会
進級・新入歓迎会
卒園式

ひとつ大きくなりました！

子どもたちはこんなことを学びます

- 子どもたち自身が「ひとつ大きくなった」喜びを感じ自信につながっていく
- 周りの人への感謝の気持ちが育つ
- 年下の子を思いやる気持ちが育ち、年上の子にあこがれの気持ちが芽生える
- 友だちの成長の喜びを祝福する気持ちが育つ

年長児に対するあこがれや期待感を感じてもらいたい！

函館山登山
お泊まり保育
子どもの作るパーティー
レストランごっこ



早くきりんさん(年長児)になりたいな！

子どもたちはこんなことを学びます

- 年長児にしか経験できないことへの期待感が生まれる
- 保育園の中で一番上の立場になることで、年長児としての責任感や自信が育つ
- 自分で目標を決め、それに向かって友だちと協力し、やり遂げようとする力がつく

いつも一緒!いつもみてるよ!



子どもに丁寧に関わるための担当制

当園の取り組み内容とねらい

- 生活の基礎となる食事・排泄・睡眠などを担当する保育者が決まっています。決まった保育者が子どもの姿・育ち・リズムをとらえて丁寧に関わり、一人ひとりの欲求を満たし、子どもの気持ちを安定させます。毎日同じ手順や順番で子どもが迷わずに行動できるように日々丁寧に関わっていくことを大切にしています。
- 言葉を理解していない0歳児にも必ず一つひとつの行為を言葉にして伝えています。授乳中は担当保育者は子どもとしっかり視線を合わせ、ほほえみ掛けながら「おいしいね」と語り掛け、信頼関係を育む大切なコミュニケーションの時間としています。

離乳食は家庭とクラス担任、栄養士と細やかな連携をとり、始める時期を決めています。初めは1対1で保育者のひざの上で食べ、ひとり座りができるようになったら、テーブルに移っていきます。1歳すぎから、保育者が1対2で対応し援助していきます。



心地よく、ゆったりと過ごすために

当園の取り組み内容とねらい

- 0歳児では家庭と同じような生活リズムを送ることで情緒の安定を図っています。保護者と細めに連携をとり、その日の対応を柔軟に行いながら、その子の日課を作っています。
- 必要に応じ沐浴をし、肌と肌のぬくもりを感じながら、心地よく過ごせるようにしています。
- 保育者との信頼関係により笑顔と共に生まれる喃語に対し、やさしく語り掛けたり歌いながら子どもの発声に反応し、発語の意欲を育てていきます。

身体と心のふれ合いを大切に

当園の取り組み内容とねらい

- 一人ひとりの発育や発達に合わせた玩具や遊びを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で保育者とふれ合っていくことを大切にしています。
- 子どもは身体にふれてもらう行為そのものに心地よさを感じます。0歳児では特に保育者と1対1でのふれ合い遊びを多くしたり、わらべうた遊びを取り入れ、より愛着関係が結び付くように心掛けています。



※一人ひとりの育ちには個人差があります。あくまで、目安として記載しています。

母親代わりの保育者とふれ合う中で、 安心をもち、対人関係の第一歩をふみ出します

0歳児は自分の欲求を主に泣くことでしか表現できませんが、周りの大人にしっかり気持ちを受け止めてもらうことで安心して過ごすことができます。保育園は子どもたちが1日の大半を過ごす大切な場所であり、保育者はときに母親のような存在でありたいと思っています。「いつもみてるよ」「大丈夫だよ」と視線を合わせ、安心感を与え、たくさんの愛情をそそぎながら、信頼関係を築いていけるようにしています。

豆知識

お休みの日も なるべく同じ生活リズムで

赤ちゃんのうちから規則正しい生活を習慣づけていくと、その後も自然と正しいリズムが身に付いていきます。お休みの日は大人のリズムに合わせるのではなく、子どもの生活リズムで過ごすことが望ましいです。

わらべうた遊び:「おふねはぎつらこ」

保育園で楽しんでいるふれ合い遊びも参考にしてみてくださいね。

♪おふねはぎつらこ ○○ちゃんがゆらゆら
なみさんがきて ぎつらこーん♪



大人は床に座って足を伸ばし、子どもを乗せます。歌に合わせて、引っ張り合うように船をこぎます。

やりたいなあ! できたよ!

自分でやってみたい気持ちを大切に作る担当制

当園の取り組み内容とねらい

- 食事** ● 食事は保育者と1対3で食べ、スプーンにのせてあげ、自分で口へ運んだり、一口量ずつ皿の手前に寄せ、すくって食べるなど、自分で食べる喜びを感じとれるようにしています。また、上にぎりぎりスプーンをしっかりとぎり、うまく口へ運べるように援助しています。
- エプロンのゴムを首に掛けることも少しずつできるようになってきます。
- 排泄** ● 一つひとつの行為を言葉に出し、一緒にオムツ交換に参加できるようにしています。また、ズボンの上げ下げなど、手を添えて知らせながら、少しずつ自分でやろうとする気持ちが育つようにしています。
- 排泄チェック表を使い、一人ひとりの排尿間隔をしっかりとつかみながらトイレトレーニングに向けての援助をしています。

手先を使った遊びを通して

当園の取り組み内容とねらい

- 指先でしっかりものをつまむことができるようになり、穴に入れる、積む、はめるなどの動きを取り入れた遊びを楽しんでいます。また、お手玉をスプーンですくうなど生活の部分と関連づけて楽しく身につけていけるようにしています。
- 一人ひとりがゆっくりじっくり遊べるよう、玩具・時間・空間を確保しています。
- 子どもの遊びたい・やりたい気持ちを大切に子ども自身が遊びを選び、自分でできるよう援助しています。

0・1・2歳は育ちに必要な手先を使う手づくり玩具を使用しています。

自我のぶつかり合い

当園の取り組み内容とねらい

- 「自分で」「イヤ」など自我が出はじめ、自己主張が強くなってきます。自分の思いが通らないと、強く要求したり、泣いて訴えることが多くなります。まずはうまく伝えられない気持ちを受け止めてあげることやその思いを共感し、言葉に変えながら一人ひとりの気持ちに寄り添い援助しています。

※一人ひとりの育ちには個人差があります。あくまで、目安として記載しています。



自分の力で歩き出す ひとり立ちへの始まりです

1歳児は、身近な人や物に関心をもちはじめ、自分の力で歩き出す時期です。自分の好きなおところに移動し、いろいろなことに挑戦しようとする好奇心にあふれ、それが探索活動となってきます。

一人ひとりの「やってみよう」という気持ちをしっかり受け止め、子ども自身が発見した感動を保育者も共に喜び合うことを大切にしています。



6 1歳児の 保育

豆知識

トイレトレーニングを始めるには?

尿間隔が長くなりオムツが濡れていないときがトイレに誘ってみるチャンスです。睡眠から目覚めた後、食事など区切りのよいとき、オムツ交換の前にトイレに誘ってみましょう。
【無理強いはいしない】【褒める】【嫌がったらトイレに誘うのをやめる】この3つに気をつけ気長に温かく笑顔で見守りましょう。

／ ひとりでできるようになったよ！ ／

子どもの自立に合わせての担当制

当園の取り組み内容とねらい

子どもが安心できる保育者の手を借りながら食事、排泄などの簡単な身の回りのことを自分でできる環境を整え、自立の援助をします。

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>食事 食べる前に…</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エプロンをします。(頭からかぶる) ● おしぼりで口と手をふき、「いただきます」をします。 ● 汁を一口飲んでから食べ始めます。 | <p>食べ終わったら…</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 口と手をふきます。 ● エプロンをはずし、エプロンとおしぼりをたたみます。 ● 「ごちそうさま」をします。 |
| <p>着脱 ● 手先が器用になり、ジャンパーのチャックやボタンなども時間を掛けて自分でできるようになってきます。身の回りの後始末(シャツを入れる、靴下を丸めるなど)を自分から進んでできるよう、個々の発達段階を理解し、それに合った援助をしています。</p> | |



自分でできたという達成感が 自信と意欲につながります

2歳児の保育では、一人ひとりの「やりたい」「できる」という気持ちを大切に受け止めています。これまで以上にできることも増え、またひとりでもできることが多くなってきますが、「やりたい」と思う気持ちとは反対に、行動がつかないこともあります。できない気持ちをしっかりと受け止め、さりげなく援助し、自分でできたときにたくさん褒めることで次への自信、意欲につながるよう心掛けています。

豆知識

何をいっても「イヤ！」 一体どうすれば？

この時期は「～しよう」という言い方は逆効果。
「手を洗おうね」「トイレに行こうね」と言えば「イヤ！」となります。そこで「白いせっけんとピンクのせっけん、どっちで洗う？」と子どもに選択権や決定権をもたせてあげましょう。



ひとり遊びから少人数遊びへ

当園の取り組み内容とねらい

- 友だちと関わる楽しさがわかってくると互いを意識し合いながら同じ空間の中で遊ぶようになってきます。友だちとイメージを共有しながら遊びを再現するごっこ遊びが広がり、身近に経験したことのあるお店屋さんになりきり、楽しむ姿があります。例えばパン屋さん・ドーナツ屋さんなど、売り手と買い手になりきったり「いらっしゃいませ」「これください」など、言葉のやりとりを楽しむようになってきます。遊びの雰囲気づくりを大切に、ごっこ遊びのおもしろさを感じとれるようにしています。



自分の気持ちが言える環境を

当園の取り組み内容とねらい

- 自分の思いを保育者や友だちに伝えられるようになる反面、ぶつかりも多くなってきます。互いの自己主張をよく聞きながらも相手がどういう思いなのかも知らせ、気づかせるようにしています。
- 使いたいものがあると「終わったら貸して」「いいよ」「待っててね」と、友だち同士で言葉のやりとりができるようになるのもこの時期です。なかなか自分の気持ちを伝えられないときは、その思いをしっかりと聞いてあげて代弁したり、一緒に言うことで相手に伝える力を身に付けています。

※一人ひとりの育ちには個人差があります。あくまで、目安として記載しています。



人格の形成期 多様な人間関係の中で心が育ちます

友だちとの関わりの中で仲間と過ごす楽しさを感じたり、きまりがあることや、守ることの大切さを知ったり、集団の中のひとりとして自分を感じ、様々なことを経験して学んでいくこの時期。トラブルやぶつかり合いの中でも多くのことを学び、著しい成長をとげていきます。また、集団生活や遊びを通して人間関係に必要な力の基盤が作られる時期でもあります。子どもが考えたいろいろな発想や一人ひとりの心の中の思いに目を向け、気づき、自分のことを自信をもって表現できる子を育てていきます。身近な人から周りの多くの人に関心を持ち、子どもたちの生活は変化に富んだものになっていきます。

豆知識

ゲームはみんなで!

トランプやカルタは昔から家族・きょうだいで楽しまれてきました。実力や偶然で勝負のつくゲームは【友だち・仲間が必要】【ルールを守って遊ぶ】【集中して遊ぶ】ことで集中力・観察力・反射神経・記憶力を育てます。

保育園にはトランプやカルタの他に様々なゲームがあります。勝っても負けても何度も挑戦する子どもたちの姿があります。



自分でやってみよう!

きまりを知り、生活態度を身に付けよう!

当園の取り組み内容とねらい

- 自分の身の回りのことも少しずつ自分でできるように手助けします。(朝・帰りの身じたく、給食の用意・片付け、汗の始末など)
- 毎日の生活の流れで、次に何を行うのかを自分で行動に移せるようにしています。統一した方法で知らせることで、迷わずできるようになります。
- 生活、遊びの中に約束があることやきまりを守る大切さを伝えています。(ものを大切に使う、言葉で伝えることの大切さ、話を聞く姿勢、集団の中で順番があることなど)
- 保育者の励ましと、たくさん褒めることで「やってみよう!」の意欲を育てます。
- おはようタイム(月1回、月の初日のお集まり会)では生活のルールやあいさつ、社会的習慣を知らせています。また人の話を聞く力と態度が身に付きます。



まるできょうだいのように仲よし!

異年齢での関わりの中で 思いやりの心を育む!

当園の取り組み内容とねらい

基本的には年齢別で保育をしていますが、3~5歳児の異年齢での活動の場も設けています。異年齢で活動することにより、

- 年上の子が年下の子の面倒を見る
- 困っている子を助ける姿も見られるようになる
- 小さい子が、大きい子にあこがれをもち、まねをして、遊びが広がり、いろいろなことを学びとるなどの相乗効果があります。



新しい自分を発見!

様々な経験で 個性が育つ!

当園の取り組み内容とねらい

- 3歳以上児クラスからは「課業」という時間があり、毎週火・水・木曜日に音楽・描画・運動を行っています。
- 子どものキラリと光るものを見つけ出し、子どもが打ち込めるもの、好きな分野を伸ばしていきます。
- 座って取り組むことで集中力を育て、友だちと取り組むことで達成感を感じさせていきます。また、小学校の授業の流れにもつながっていきます。

好きな遊びを友だちと楽しもう！

自発性を育むコーナー遊び

当園の取り組み内容とねらい

- 各クラスの部屋は、遊び別に空間(コーナー)が分かれていて、朝や午後の自由遊びでは自分で好きな遊びを選択し、少人数でじっくりと楽しむようにしています。(例:ままごと、積み木、ボードゲームコーナーなど)遊びが終わったら、元の場所にしまう習慣を小さい頃から習慣化していきます。
- 玩具は子どもの発達や、季節に合わせて用意し、大きいクラスでは、子どもと意見を出し合ってごっこ遊びの内容を決めることもあります。
- 子どもの大好きな不思議な積み木「カブラ」。友だちとテーマを決めて、ダイナミックなものづくりも楽しめます。友だちと一緒に作ることで、協調性・自発性を養います。



子どもたちには、遊びを通してしか伸ばせないものがあります

保育園の教育的役割の中で、しばしば「教室的教育」が評価されがちですが、幼児期の子どもにとって「好きなことを見つけ出し、それに熱中する」ことの重要性はあまり語られていません。しかし、子どもの学力低下の大きな原因のひとつが「集中力」「熱中力」の低下だといわれています。私たちは子どもたちが「集中力」「熱中力」をもって大好きなことに夢中になれる環境を提供することに努め、遊びを通して「集中力・熱中力・想像力・思考力・構成力・自発性」を身に付けてほしいと考えています。

豆知識

手・指を使うことは脳を使うこと

自分の意志で手や指を使うこと、身体を動かすことを通して脳を発達させます。
【戸外で身体を動かして遊ぶ】ことはもちろんですが、【室内で手を使って遊ぶ】ことも大事です！



絵本にふれ、集中力・想像力を養う

当園の取り組み内容とねらい

- 子どもたちが大好きな絵本。当園では0歳児クラスから絵本に親しんでいます。また、毎日の読み聞かせの中で、いろいろな物語にのめり込み、座って話を聞く集中力が身に付きます。(季節、行事に添ったものを選んでいきます)
- 3歳以上児クラスでは月に一度「語り聞かせ」という時間があります。絵本を使わず、保育者が声と表現だけで「素ばなし」をします。一人ひとりの想像力が育ちます。



年長児では20分くらいのもも！

【課業】音楽遊びを楽しもう！

当園の取り組み内容とねらい 3歳以上児対象

- 週に1度の「音楽」の時間でリズム感や表現力を養うはじめは手拍子などの簡単なリズム打ちから始め、みんなで合奏もできるまでになります。(季節のうた、わらべうた、リズム遊びなど)

【課業】個性が光る「描く」「作る」

当園の取り組み内容とねらい 3歳以上児対象

- 週に1度の「描画」の時間でのびのびとした表現力を養う席について、集中して取り組みます。ハサミの使い方を知ったり、様々な素材、画材にふれ、作品づくりを楽しみます。



♪あるこう あるこう わたしはげんき♪

自然いっぱいのお散歩

当園の取り組み内容とねらい

- 四季を通じて散歩に出掛け、花や虫などにふれ、季節の移り変わりを身体全体で感じながら、友だちと手をつないで歩くことを楽しみます。
- 小さいクラスから散歩に出ているので足腰も鍛えられ、歩くことに慣れていきます。5歳児では函館山登山があり、旧山道コース(2840m)を登りきります。
- お散歩は地域の方との交流や、交通マナーを知る機会にもなり、社会性が身に付きます。
- 季節の移り変わりを肌で感じ、変化に気付きます。

主な散歩コース
 ・松倉川遊歩道
 ・函館空港
 ・市民の森



集団遊びって楽しいね!

友だちとたくさん身体を動かそう

当園の取り組み内容とねらい

- 鬼ごっこなど子どもが好きな遊びをたくさん取り入れ、「友だちと遊ぶこと」や「身体を動かすことの楽しさ」を感じていけるようにしています。
- 集団遊びはみんなで一緒に楽しむ遊びです。協力したり、共感し合ったりすることで、仲間意識を育て、ルールを守ることも身に付けていきます。(ゲーム遊び、わらべうた遊び、雪遊び、水遊びなど)



[課業]いろいろな運動に挑戦しよう

当園の取り組み内容とねらい 3歳以上児対象

- 週に1度の「運動」の時間で達成感を味わう
 様々な運動器具にふれ、いろいろな遊びの体験の中で運動能力を伸ばします。
 (鉄棒、マット、ボール、なわ跳び、跳び箱など)
 身体づくりだけでなく、意欲や競争心、あきらめない心を育てます。



自然とふれ合い 身体を動かす喜びを感じてほしい

保育園周辺には、小鳥の声や川のせせらぎが聞こえる散歩コース、隣接した広々としたグラウンドがあり、自然に恵まれた環境にあります。TVゲームなどで遊ぶことが多く、身体を動かすことが減ってきている中で「動の遊び」は、エネルギーを発散させると同時に、運動能力を伸ばすことができます。また、体力をつけることは、風邪や病気から身体を守ることにもなります。

自然豊かなこの地で、積極的に身体を動かし、心身共に、丈夫でたくましい子どもを育てていきたいと思ひます。



楽しく、正しく、おいしい給食を!

お皿がぴかぴかになるまで食べよう

当園の取り組み内容とねらい

- 命をいただいていることに感謝し「食べきる」を目標にしています。一人ひとりに合わせ量を調節し、食べきった満足感・喜びを感じさせています。
- 年長児は給食の配膳を手伝います。(3.4.5歳のお茶、副食、汁物を配膳します)



収穫・調理体験で食を身近に感じる!

育てて学ぼう! 食べて学ぼう!

当園の取り組み内容とねらい

- 当園所有の農園でいろいろな野菜を種から自分たちの手で植えて収穫を体験します。育てたもぎたての野菜のおいしさを実感し、食べ物の大切さ、感謝の気持ちが育ちます。
- 収穫した物を自分たちでクッキング! みんなで味わって食べます。
(年長児の調理体験…レストランごっこ・子どもの作るパーティー・おやつランド)

これらの体験をすることで苦手な食べ物も食べてみようとする姿がみられます。



食べ物の力・食べる大切さを知る!

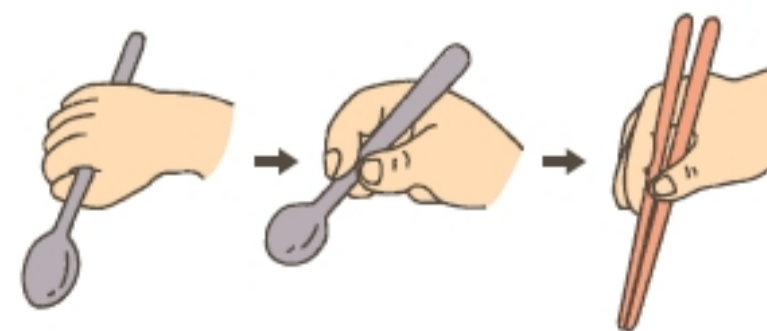
たくさん食べて大きくなろう

当園の取り組み内容とねらい

- 年数回、栄養士による食育指導の取り組みをしています。イラストやエプロンシアターを使い、楽しくわかりやすく学びます。
 - どうして好き嫌いをしない方がいいの?
 - どうしてごはんを食べるの?
 - 三大栄養素って?
 - 食べ物はどうやってうちになるの?

学ぶことで、自分の身体と食べ物との関係について興味をもちます。

スプーン～はしのもち方



「食べる」ことは「生きる」こと ～心と身体の栄養のために～

子どもが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくために、また、子どもの健康支援のために「食」は大変重要です。

乳幼児期における望ましい食習慣の定着・食を通じた人間性の形成・心身の健全育成を図るために、毎日の給食を食育の「生きた教材」として心を込めて作っています。給食には旬を強く意識した食材を選び、月1回の誕生会メニューではその月の節句・行事など季節に関する献立で日本の文化も知らせています。

豆知識

楽しくごはんを食べよう

好き嫌いをなくしていくことに手を焼くお母さんも多いかと思いますが、大人がおいしそうに「おいしい!」と食べることが嫌いをなくすコツです。料理作り、配膳の手伝いも楽しい嬉しい食事になります。



心身の状態や発育・発達を把握し、健康観察を行う！

いつでも元気で気持ちよく過ごせるために！

感染予防についての取り組み

季節的に発症しやすい病気や予防方法についてのおたより配布(年3回の保健だより)、感染症予防のために、園内で発症している感染症の症状・罹患人数などをお知らせしています。

虫歯予防についての取り組み

昼食後はりんごとお茶で虫歯を予防しています。また、3～5歳児は毎日歯みがきを実施し、4・5歳児ではフッ化物洗口を行っています。

■ 歯科検診の実施、ブラッシング指導の実施

健康増進についての取り組み

年齢別・保健計画を作成し、それを元に健康増進に努めます。

- 内科検診実施：年2回(歯科・内科検診の結果は保護者へ報告します)
- 身体測定：毎月

37.5℃以上の熱では登園を控え、受診をおすすめしています。いつもと様子が異なる場合は登園前に熱を測ってみましょう。



健康増進や病気の予防に努める！

お子さんの病気と登園の目安について

登園の目安は…

- ①感染力が低下して、登園しても集団感染にならない
 - ②子どもの状態が、毎日の集団生活に支障がないところまで回復している
- また、初めての集団生活をスタートさせたお子さんは、慣れるまで何回か体調不良をくり返す場合もあります。病気を乗り越えて免疫を獲得し、徐々に丈夫になっていきますので、ある程度は心配いりません。



連携した健康管理を行う！

子どもの1日の姿を保護者と保育園とで共有する！

当園では、保護者との会話、コミュニケーションを大切に考えています。小さな変化にも気付けるよう朝の健康観察をしっかり行うと共に、登園時に家庭での様子を聞き、帰りに保育園での様子を保護者に伝えることで、お互いに1日の生活を把握しています。

- 未満児(0.1歳児)…毎日の連絡ノート、検温
- 2歳児…週に1度(月～金の様子)の連絡ノート
- 3・4・5歳児…月に1度おはようブックへのコメント

また、職員間で登園時の出席確認や午睡チェック表を使って伝達事項を伝え合い、共通理解することで子どもの姿を把握しています。一人ひとりの子どもに対し、保育園全体で対応しています。



健康管理とは子どもを身体的、心理的、さらに社会的にすこやかに育てること

子どもたちが毎日元気に過ごすためには、心身共に健康であることが大切です。心と身体が常に安定するよう、保育者は子どもたち一人ひとりとの信頼関係を築くことを心掛けています。

「心も元気・身体も元気」どちらがかけても本当の健康とは言えません。

顔色・きげん・表情など、毎朝子どもたちの様子を観察することから、保育園の健康管理は始まります。日々の保育の中で、この時期の子どもたちに大切な運動や、身近にある自然にたくさんふれ、必要な栄養・休息をとり、病気を乗り越えられるような体力・精神力を養うことで健康維持・増進につなげていきます。

豆知識

保育園では与薬できません！

本来保育園で薬を飲ませることは法律違反となります。薬を飲まなくてはならない状態(体調)の場合は、家庭で治療していただく必要があります。また、医療機関によっては薬を1日2回(朝・夕)にしておられます。できるだけ家庭での与薬をお願いします。

予防接種で子どもを守ろう

定期接種は定められた摂取期間内であれば費用はかかりません。

子どもたちの元気な毎日のために就学前に予防接種をしましょう。

- 子どもを病気から守るため!
- 病気が流行しても軽くすむため!
- 周囲に感染を広げないため!

予防接種は病気を予防する最良の方法です。





衛生的で快適な環境を 保障し続けることは保育の基本です

乳幼児期の子どもたちは、感染に対する抵抗力や免疫力がとても弱いものです。保育園では子どもたちを病気から守り、心地よい快適な保育園生活ができるよう、保育室や給食室などの環境に十分な配慮を行っています。子どもたちにとって最も大切なことは元気に安心して過ごせるということです。私たちは徹底した衛生管理を通し、ただ「場」を整えるだけでなく、保育園で過ごす「子ども」を守っていきたくと思います。

豆知識

食中毒予防の三大原則

1. 細菌をつけない

- 食器、調理器具は洗浄後、90℃で30分以上消毒（まな板・包丁は洗うたびに熱湯をかけて消毒）
- ふきんは毎日漂白、殺菌

2. 細菌を増やさない

- できてから2時間経ったものは食べさせない
- 食べる時間から逆算して調理

3. 加熱する

- 生で食べられる野菜も全部熱湯に通して殺菌
- 調味料も必ず火にかけて殺菌
- 揚げ物、焼き物、蒸し物は75℃以上で1分間加熱



1次感染を防ぐ！

安全な食事を提供します！

調理員は、子どもたちが安心しておいしく食べられる給食を提供できるように、調理室での1次感染防止に努めています。

- 調理業務従事者の健康チェック
- 衛生管理チェック
- 毎日の掃除（調理前後）
- 作業台や冷蔵庫等の手のふれる所
- 床の掃除（週2回以上）

※ピューラックスとは

次亜塩素酸ナトリウム6%殺菌剤。アルコールでも効かない菌にも効き、使用方法に合わせ濃度を変えて使用しています。

2次感染を防ぐ！

きれいな玩具で遊ぼう！

玩具は、毎日消毒しています。特に0～2歳児は玩具を口に入れてしまうことが多いのでいつも清潔にし、感染症を防いだり、安全で安心して遊べる環境を整えています。

当園の取り組み内容

- 玩具はピューラックス※を使用してふいたり、細かいものはつけ込んだりして消毒しています。また、日光消毒も行います。
- 布の玩具等は洗濯します。
- 園庭の遊具も点検し、砂場にも年に一度抗菌砂を混ぜ、子どもの安全を守っています。
- 感染症流行時には消毒を1日何度も行い、玩具を個別にしています。

お子さんのちょっとした変化などがありましたら教えてください。

／ 細やかな心配りで、
衛生的な保育環境づくり！ ／

2次感染を防ぐ！

気持ちよい部屋で過ごそう！

子どもたちを常に風邪などの菌から守り、気持ちよく過ごせるようにしています。

当園の取り組み内容とねらい

- 毎日の掃除では各部屋の床や壁、棚、窓などの子どもの手が届く所やふれる所を常に清潔にしています。ふき掃除にはピューラックス※を使用しています。
- 網戸やカーテンも時期に合わせて掃除、洗濯をしています。布団やベッドも定期的に干し、清潔を保っています。
- 各保育室やホール、ランチルームなどにはエアコンや空気清浄機（プラズマクラスター）を設置しています。また、冬場は加湿器を設置し湿度を保ち、季節に合わせて室温・湿度や換気に配慮しています。

2次感染を防ぐ！

集団感染を起こさないために！

こんなことに気をつけています

- 職員は心身共に健康で子どもに接するため、日々健康管理に気をつけています。
- 0歳児クラスは毎朝エンジェルガード・24時間抗菌剤で手を消毒し保育します。
- 嘔吐用キットを各クラス、ランチルームに配置し、嘔吐時すぐに対応、処理し感染を防げるようにしています。
- 手洗い・うがいから感染を予防し、清潔に過ごすことを心掛けています。（戸外から帰ってきたとき、食事前、排泄、オムツ交換後、鼻水をかんだ後など）
- 0～2歳児では排泄（オムツ交換）時、個々のお尻シートを使用し、感染予防をしています。また、下痢のときなどは2次感染を防ぐために、使い捨てのビニール手袋を使用しています。
- 感染症の疑いがみられる園児は、医務室など別室で様子をみます。

安全な環境への配慮

安心の中で過ごすために

当園の取り組み内容とねらい

自主点検

- 事故防止マニュアルを作成し、点検ポイントで見落としを防いでいます。
- 危険箇所の修復、職員の共通理解で子どもたちの安全を守っています。
- 防火点検：毎月1回(年2回榑谷商會に依頼しています)
- 安全点検：週1回

ヒヤリハットマップの作成・掲示

- 歩き始めの0~2歳児のために、転倒時の衝撃の緩和のため安全ガードを貼っています。
- 子どもが好きな隙間には入り込まない工夫をし、危険から子どもの身を守っています。

お散歩安全マップの作成・掲示

- 子どもたちも目で見てわかるような当園周辺のお散歩マップを掲示し、危険なところへ行かないようにしています。



ケガのときに使う消毒液には雑菌だけでなく傷を回復させる細胞まで壊してしまうものもあります。当園では汚れや雑菌だけを水道水で洗い流しています。

14
安全・
事故対策子どもたちを大きなケガや事故から守り、
のびのびとした生活を保障すること

注意力散漫になりやすく、危険を回避する能力が未熟な子どもたちに、「なぜ危険なのか」を根気よく教え、補助し、見守ります。職員間で情報や意見の交換を行うことで、保育園の安全管理について共通理解を深め、意識の向上を図っています。また、子どもたちを犯罪被害から守るために、市からの情報提供や、地域の皆さん、児童館・小学校とも連携を図りながら、安心して子どもを預けられる保育園を目指し、子ども自身の学びも考えた安全・事故対策をとっています。

豆知識

誤飲サイズを
チェックしよう!

何でも口にする乳幼児、小さくてかわいい口をしていますが、実は直径32mm以下のものは誤飲できてしまう大きさとなっています。実際にこの大きさと比べ、身の回りの物をチェックしてみましょう。

誤飲サイズ
500円玉大



事故や天災が起きた場合に備える!

どんなときも落ちついて!

当園の取り組み内容とねらい

- 地震(年5回)・火災(年5回)・不審者(年2回)様々な場所・時間(遊び、給食時、昼寝時)を想定し計画的に訓練しています。
- 全職員の役割分担と年間を通じて行うことで素早く安全に避難誘導できるようにしています。
- 救急バッグや災害用バッグ、備蓄を用意し緊急時に備えています。また、救急バッグは散歩時に必ずもち、事故やケガにも対応できるようにしています。
- 誤飲、転落、やけど、窒息、打撲など万が一のときは状況を把握し、関係機関または囑託医へ連絡し、すみやかに対処できるようにしています。

[囑託医] 小児科:石崎小児科 59-1233
外科:福徳外科 57-0897

災害時にはこちらの電話で対応しています。

070-5567-0768

災害時は上湯川小学校へ避難します。

0138-57-2211

「危ない」に気付けるように
一緒に学ぼう

当園の取り組み内容とねらい

- 危険な場面に遭遇したとき、子どもたちが気付いて行動できる力を養っています。子ども自身の経験(痛い思い)や保育の中で一人ひとりへ安全な過ごし方、約束ごとをくり返し知らせています。
- 訓練の取り組み(地震、火災、不審者)から子どもたちへ訓練の大切さを伝え、実際に起きた場面を想定し、逃げ方や合い言葉、約束を知らせています。
- こぐまクラブ(交通安全指導)3・4・5歳児が年6回行い、市の指導員より道路の歩き方や渡り方、安全確認等、ゲームや紙芝居等を通して指導してもらっています。

保育園の管理下で園児の災害が発生したとき、あらかじめ保護者の同意の上、(独)日本スポーツ振興センターの給付金を受ける制度に園児全員に加入していただいています。



地域で育つ子どもたちのために、 みんなのために

日々のコミュニケーションを大切にしながら、保護者の皆さんの仕事と子育ての両立を支えるために、職員が一体となり、よりよい子育てのパートナーとなることを目指しています。

地域の保護者の皆さんに対しても、子育て支援を行っています。家庭で育児をしている保護者の悩みにふれ、在園児だけでなく、地域の家庭や卒園した地域の子どもたちへ目を向けた子育て支援を行っていきます。

豆知識

子どもは大人の鏡

子どもは大人や年上の子がしていることがかっこよく、あこがれをもって見ている。真似したい、やってみたいと思い、時々私たちが困ることを真似するものです。そこで【大人は真似してほしいことをする】【してほしくないことはしない】【いつもきらりと輝く大人でいる】など子どもが常に大人を見ていると自覚しながら行動したいものです。



地域のみんなを応援します！

当園の取り組み内容とねらい

●たんぼほのつどい(地域活動事業)

園児と卒園児、地域の方や子どもたちの交流の場です。年に8回ほど、行事への参加を呼び掛け、様々な活動を通し園児と地域の子どもたちとのふれ合いの場を設け、「応援しています」「見守っています」のメッセージを発信しています。(遠足や夏まつり、七夕、運動会、農園、体力測定など)葉書やポスターで開催日を知らせています。

●保育園だよりの配布

散歩中などに地域の方へ保育園だよりを配布し、保育園での様子や行事を知らせています。

●一時預かり保育をしています(一時預り保育事業)

月12回、1日8時間利用できます。詳細など随時相談に応じます。また保育園の見学は自由にできますのでいつでもお待ちしております！

卒園しても
見守っているよ！



いつでも保育園に
来てください！

※ホームページを開設しています

いろいろな方に函館上湯川保育園を知り、利用していただくために作成しています。

<http://teishinfukushikai.or.jp/kamiyunokawa/>

どんな小さなことでも気軽にお話してください

当園の取り組み内容とねらい

●保護者と普段の子どもたちの生活を知り、共通の思いをもちたいと考えています。年に2回懇談会(5月は個人、2月はクラス)で行います。保護者との交流も図り意見交換で子育ての共通の思いや悩みのヒントが得られます。

●登園、降園時や連絡ノートなど時間を作り、いつでも話し合い相談にのります。離乳食の進め方のメニューや基本的な生活習慣、親子のふれ合い遊びについてなど、どんな些細なことでもかまいません。

●子育ての喜びや不安を一緒に分かち合い、共に育ち合えるよう、手を取り合っていきたいと思います。

●苦情処理窓口を設置しています

無いことが一番ですが、何かありましたらお伝えください。丁寧な対応を心掛け、地域の方と子どもたちがよりよく過ごせるよう心掛けています。



ごあんない





社会福祉法人 貞信福祉会
認定こども園
函館上湯川保育園

